成長国高金利債券ファンド
(毎月決算型)
(愛称：Mr. スリー)

運用報告書(全体版)

第149期（決算日　2022年８月12日）
第150期（決算日　2022年９月12日）
第151期（決算日　2022年10月11日）
第152期（決算日　2022年11月11日）
第153期（決算日　2022年12月12日）
第154期（決算日　2023年１月11日）
（作成対象期間　2022年７月12日～2023年１月11日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、新興国通貨建ての債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2010年３月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	成長国高金利債券マザーファンドの受益証券
	成長国高金利債券マザーファンド	新興国通貨建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

◇TUZ03117202301111◇

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPモルガン GBI-EMブロードダイバーシファイド（円換算）		公社債組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
125期末（2020年8月11日）	3,819	25	△ 1.0	14,776	△ 0.2	94.3	291
126期末（2020年9月11日）	3,888	25	2.5	14,929	1.0	95.5	288
127期末（2020年10月12日）	3,894	15	0.5	14,851	△ 0.5	95.1	287
128期末（2020年11月11日）	4,180	15	7.7	15,218	2.5	95.1	308
129期末（2020年12月11日）	4,222	15	1.4	15,555	2.2	95.9	304
130期末（2021年1月12日）	4,209	15	0.0	15,475	△ 0.5	96.0	288
131期末（2021年2月12日）	4,355	15	3.8	15,796	2.1	95.6	293
132期末（2021年3月11日）	4,185	15	△ 3.6	15,516	△ 1.8	96.5	277
133期末（2021年4月12日）	4,324	15	3.7	15,725	1.3	96.4	285
134期末（2021年5月11日）	4,411	15	2.4	16,090	2.3	96.6	290
135期末（2021年6月11日）	4,576	15	4.1	16,426	2.1	95.3	298
136期末（2021年7月12日）	4,449	15	△ 2.4	16,034	△ 2.4	96.2	286
137期末（2021年8月11日）	4,407	15	△ 0.6	16,002	△ 0.2	96.1	282
138期末（2021年9月13日）	4,543	15	3.4	16,193	1.2	95.3	283
139期末（2021年10月11日）	4,401	15	△ 2.8	15,984	△ 1.3	95.4	273
140期末（2021年11月11日）	4,499	15	2.6	16,215	1.4	95.2	274
141期末（2021年12月13日）	4,366	15	△ 2.6	15,834	△ 2.3	95.5	265
142期末（2022年1月11日）	4,479	15	2.9	16,034	1.3	95.7	270
143期末（2022年2月14日）	4,566	15	2.3	16,384	2.2	95.7	275
144期末（2022年3月11日）	4,467	15	△ 1.8	15,168	△ 7.4	95.7	269
145期末（2022年4月11日）	4,883	15	9.6	16,369	7.9	96.5	288
146期末（2022年5月11日）	4,774	15	△ 1.9	16,000	△ 2.3	94.8	271
147期末（2022年6月13日）	5,013	15	5.3	16,865	5.4	89.2	278
148期末（2022年7月11日）	4,877	15	△ 2.4	16,494	△ 2.2	80.8	270
149期末（2022年8月12日）	5,060	15	4.1	16,838	2.1	82.3	275
150期末（2022年9月12日）	5,230	15	3.7	17,615	4.6	88.6	284
151期末（2022年10月11日）	5,050	15	△ 3.2	17,127	△ 2.8	91.9	273
152期末（2022年11月11日）	5,081	15	0.9	17,122	△ 0.0	94.4	275
153期末（2022年12月12日）	4,932	15	△ 2.6	17,092	△ 0.2	94.3	266
154期末（2023年1月11日）	4,985	15	1.4	17,058	△ 0.2	94.4	269

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭブロード　ダイバーシファイド（円換算）は、ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　ブロード　ダイバーシファイド（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　ブロード　ダイバーシファイド（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

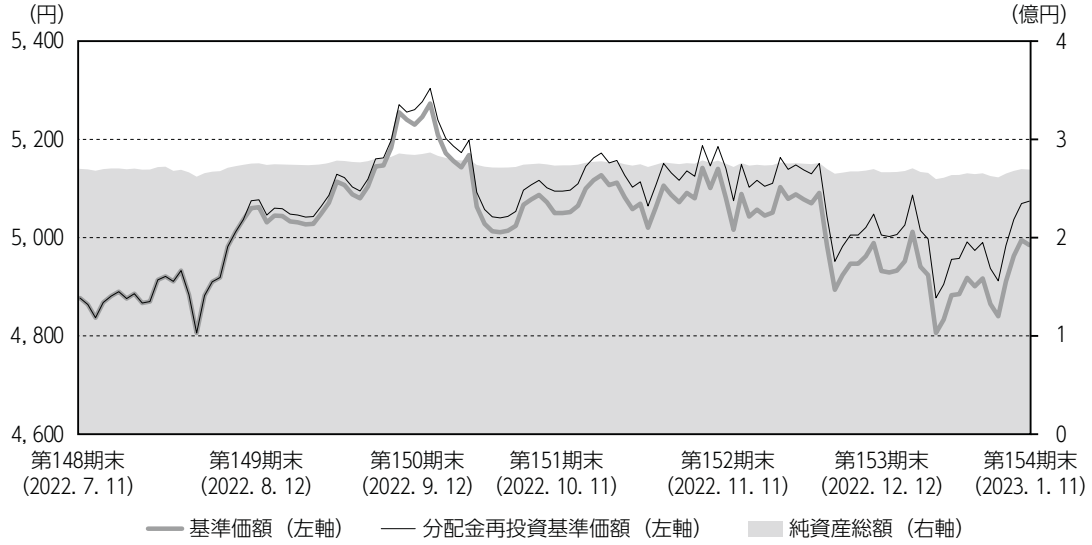
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第149期首：4, 877円
第154期末：4, 985円（既払分配金90円）
騰　落　率：4. 0%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資している債券の価格上昇や利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

成長国高金利債券ファンド（毎月決算型）

	年　月　日	基準価額		JPモルガン GBI－EMブロードダイバーシファイド（円換算）		公社債組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率	
		円	%		%	%
	（期 首）2022年7月11日	4,877	—	16,494	—	80.8
第149期	7月末	4,933	1.1	16,432	△ 0.4	81.5
	（期 末）2022年8月12日	5,075	4.1	16,838	2.1	82.3
	（期 首）2022年8月12日	5,060	—	16,838	—	82.3
第150期	8月末	5,088	0.6	17,090	1.5	81.7
	（期 末）2022年9月12日	5,245	3.7	17,615	4.6	88.6
	（期 首）2022年9月12日	5,230	—	17,615	—	88.6
第151期	9月末	5,014	△ 4.1	16,909	△ 4.0	91.7
	（期 末）2022年10月11日	5,065	△ 3.2	17,127	△ 2.8	91.9
	（期 首）2022年10月11日	5,050	—	17,127	—	91.9
第152期	10月末	5,106	1.1	17,334	1.2	94.2
	（期 末）2022年11月11日	5,096	0.9	17,122	△ 0.0	94.4
	（期 首）2022年11月11日	5,081	—	17,122	—	94.4
第153期	11月末	5,091	0.2	17,164	0.2	94.1
	（期 末）2022年12月12日	4,947	△ 2.6	17,092	△ 0.2	94.3
	（期 首）2022年12月12日	4,932	—	17,092	—	94.3
第154期	12月末	4,865	△ 1.4	16,727	△ 2.1	94.2
	（期 末）2023年1月11日	5,000	1.4	17,058	△ 0.2	94.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2022. 7. 12 ～ 2023. 1. 11）

■債券市況

インドネシア、メキシコ、南アフリカでは、短期の金利は上昇（債券価格は下落）し中長期の金利は低下（債券価格は上昇）しました。

インドネシア、メキシコ、南アフリカでは、インフレ圧力の高まりにより利上げが実施されたことなどを背景に、短期金利が上昇しました。一方で長期金利は、2022年11月以降、米国の長期金利が低下に転じたことなどから低下しました。

■為替相場

メキシコ・ペソは対円で上昇（円安）し、インドネシア・ルピアおよび南アフリカ・ランドは対円で下落（円高）しました。

米国の金融引き締め観測の後退や日銀の政策修正などを背景に円高が進行したことから、インドネシア・ルピアおよび南アフリカ・ランドは対円で下落しました。メキシコ・ペソは、積極的な利上げや高金利通貨としての魅力が上昇材料となり、対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、「成長国高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■成長国高金利債券マザーファンド

引き続き、新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて （2022. 7. 12 ～ 2023. 1. 11）

■当ファンド

当作成期を通じて「成長国高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

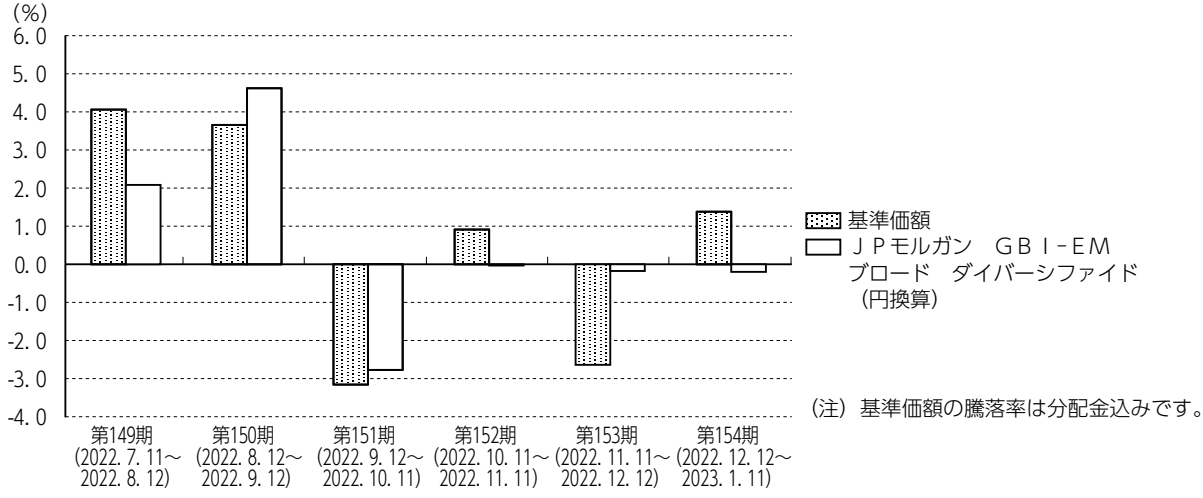
■成長国高金利債券マザーファンド

・基本的な商品性格に基づき、アジア地域ではインドネシア・ルピア、中南米地域ではメキシコ・ペソ、欧州・中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドへ投資しました。通貨別の配分は、各国の経済状況、財政状況、金融市場動向、社会情勢等を分析し、金利や為替の水準と方向性を考慮して配分しました。

・債券ポートフォリオについては、修正デュレーションを各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債を中心としたポートフォリオ構成としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目	第149期 2022年７月12日 ～2022年８月12日	第150期 2022年８月13日 ～2022年９月12日	第151期 2022年９月13日 ～2022年10月11日	第152期 2022年10月12日 ～2022年11月11日	第153期 2022年11月12日 ～2022年12月12日	第154期 2022年12月13日 ～2023年１月11日
当期分配金（税込み）（円）	**15**	**15**	**15**	**15**	**15**	**15**
対基準価額比率　（%）	0.30	0.29	0.30	0.29	0.30	0.30
当期の収益　（円）	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外　（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額　（円）	330	345	354	369	383	397

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第149期	第150期	第151期	第152期	第153 期	第154期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓　29.01円	✓　29.10円	✓　24.19円	✓　30.40円	✓　28.50円	✓　29.14円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	114.14	114.28	114.42	115.52	115.68	115.86
（ｄ）分配準備積立金	202.76	216.65	230.63	238.82	254.08	267.41
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）	345.92	360.04	369.25	384.75	398.26	412.42
（ｆ）分配金	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）	330.92	345.04	354.25	369.75	383.26	397.42

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、「成長国高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■成長国高金利債券マザーファンド

引き続き、新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

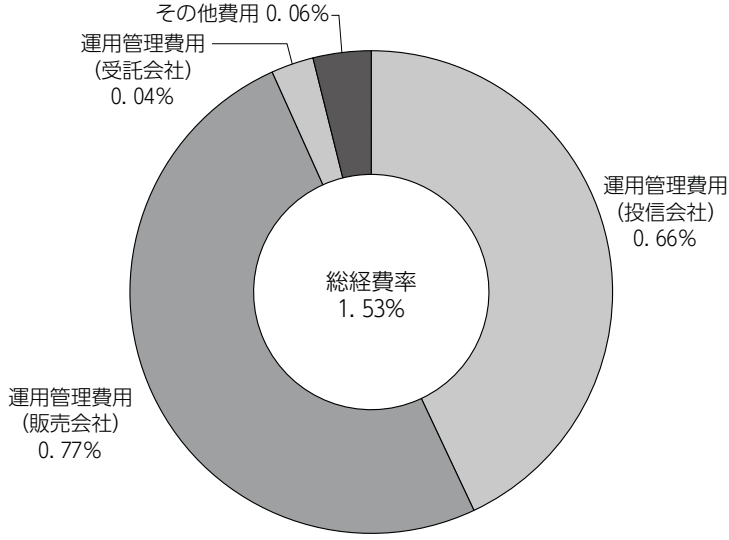
項　　目	第149期～第154期 (2022. 7. 12～2023. 1. 11)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	37円	0. 742%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は5, 023円です。**
（投信会社）	(17)	(0. 332)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(20)	(0. 388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0. 022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0. 030	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0. 002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(1)	(0. 024)	インドネシア国債のキャピタルゲイン課税、信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	39	0. 772	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.53%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2022年７月12日から2023年１月11日まで）

決算期	第149期～第154期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
成長国高金利債券マザーファンド	416	715	8,492	14,360

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第148期末	第154期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
成長国高金利債券マザーファンド	164,507	156,430	267,980

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年１月11日現在

項目	第154期末	
	評価額	比率
	千円	%
成長国高金利債券マザーファンド	267,980	99.1
コール・ローン等、その他	2,322	0.9
投資信託財産総額	270,303	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。

（注２）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、１月11日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝132.40円、１メキシコ・ペソ＝6.948円、100インドネシア・ルピア＝0.85円、１南アフリカ・ランド＝7.79円です。

（注３）成長国高金利債券マザーファンドにおいて、第154期末における外貨建純資産（267,497千円）の投資信託財産総額（267,980千円）に対する比率は、99.8％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2022年８月12日）、（2022年９月12日）、（2022年10月11日）、（2022年11月11日）、（2022年12月12日）、（2023年１月11日）現在

項目	第149期末	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末
(A)資産	**276,480,112円**	**285,393,310円**	**274,522,714円**	**276,461,517円**	**267,745,742円**	**270,303,673円**
コール・ローン等	2,410,294	2,477,801	2,408,747	2,461,286	2,411,642	2,322,945
成長国高金利債券マザーファンド（評価額）	274,069,818	282,779,692	272,113,967	274,000,231	265,334,100	267,980,728
未収入金	—	135,817	—	—	—	—
(B)負債	**1,166,304**	**1,268,321**	**1,142,243**	**1,164,986**	**1,161,173**	**1,142,729**
未払収益分配金	816,217	814,965	811,949	812,665	810,842	809,860
未払解約金	—	102,296	—	—	—	—
未払信託報酬	348,155	347,202	324,630	344,743	340,862	321,613
その他未払費用	1,932	3,858	5,664	7,578	9,469	11,256
(C)純資産総額（A－B）	**275,313,808**	**284,124,989**	**273,380,471**	**275,296,531**	**266,584,569**	**269,160,944**
元本	544,145,250	543,310,633	541,299,367	541,777,052	540,561,845	539,907,094
次期繰越損益金	△ 268,831,442	△ 259,185,644	△ 267,918,896	△ 266,480,521	△ 273,977,276	△ 270,746,150
(D)受益権総口数	**544,145,250口**	**543,310,633口**	**541,299,367口**	**541,777,052口**	**540,561,845口**	**539,907,094口**
１万口当り基準価額（C／D）	**5,060円**	**5,230円**	**5,050円**	**5,081円**	**4,932円**	**4,985円**

＊当作成期首における元本額は553,743,991円、当作成期間（第149期～第154期）中における追加設定元本額は3,886,148円、同解約元本額は17,723,045円です。

＊第154期末の計算口数当りの純資産額は4,985円です。

＊第154期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は270,746,150円です。

■損益の状況

第149期　自2022年７月12日　至2022年８月12日　　第151期　自2022年９月13日　至2022年10月11日　　第153期　自2022年11月12日　至2022年12月12日
第150期　自2022年８月13日　至2022年９月12日　　第152期　自2022年10月12日　至2022年11月11日　　第154期　自2022年12月13日　至2023年１月11日

項　　目	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
(A)配当等収益	**―円**	△ **19円**	△ **53円**	△ **56円**	△ **85円**	△ **46円**
支払利息	―	△ 19	△ 53	△ 56	△ 85	△ 46
(B)有価証券売買損益	**11,083,553**	**10,397,545**	△ **8,554,378**	**2,832,708**	△ **6,940,759**	**4,032,563**
売買益	11,123,261	10,412,910	13,343	2,840,325	20,037	4,037,651
売買損	△ 39,708	△ 15,365	△ 8,567,721	△ 7,617	△ 6,960,796	△ 5,088
(C)信託報酬等	△ **350,087**	△ **349,128**	△ **326,436**	△ **346,657**	△ **342,753**	△ **323,400**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**10,733,466**	**10,048,398**	△ **8,880,867**	**2,485,995**	△ **7,283,597**	**3,709,117**
(E)前期繰越損益金	△ **148,742,625**	△ **138,531,235**	△ **128,745,993**	△ **137,981,621**	△ **135,921,171**	△ **143,751,664**
(F)追加信託差損益金	△ **130,006,066**	△ **129,887,842**	△ **129,480,087**	△ **130,172,230**	△ **129,961,666**	△ **129,893,743**
(配当等相当額)	(6,211,208)	(6,209,158)	(6,193,831)	(6,258,690)	(6,253,560)	(6,255,614)
(売買損益相当額)	(△ 136,217,274)	(△ 136,097,000)	(△ 135,673,918)	(△ 136,430,920)	(△ 136,215,226)	(△ 136,149,357)
(G)合計（D＋E＋F）	△ **268,015,225**	△ **258,370,679**	△ **267,106,947**	△ **265,667,856**	△ **273,166,434**	△ **269,936,290**
(H)収益分配金	△ **816,217**	△ **814,965**	△ **811,949**	△ **812,665**	△ **810,842**	△ **809,860**
次期繰越損益金（G＋H）	△ **268,831,442**	△ **259,185,644**	△ **267,918,896**	△ **266,480,521**	△ **273,977,276**	△ **270,746,150**
追加信託差損益金	△ 130,006,066	△ 129,887,842	△ 129,480,087	△ 130,172,230	△ 129,961,666	△ 129,893,743
(配当等相当額)	(6,211,208)	(6,209,158)	(6,193,831)	(6,258,690)	(6,253,560)	(6,255,614)
(売買損益相当額)	(△ 136,217,274)	(△ 136,097,000)	(△ 135,673,918)	(△ 136,430,920)	(△ 136,215,226)	(△ 136,149,357)
分配準備積立金	11,796,089	12,537,704	12,981,975	13,773,770	14,464,479	15,201,488
繰越損益金	△ 150,621,465	△ 141,835,506	△ 151,420,784	△ 150,082,061	△ 158,480,089	△ 156,053,895

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
（注４）投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：164,201円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,578,948円	1,581,574円	1,309,728円	1,647,332円	1,540,669円	1,573,379円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	6,211,208	6,209,158	6,193,831	6,258,690	6,253,560	6,255,614
(d) 分配準備積立金	11,033,358	11,771,095	12,484,196	12,939,103	13,734,652	14,437,969
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	18,823,514	19,561,827	19,987,755	20,845,125	21,528,881	22,266,962
(f) 分配金	816,217	814,965	811,949	812,665	810,842	809,860
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	18,007,297	18,746,862	19,175,806	20,032,460	20,718,039	21,457,102
(h) 受益権総口数	544,145,250口	543,310,633口	541,299,367口	541,777,052口	540,561,845口	539,907,094口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金（税込み）	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
	15円	15円	15円	15円	15円	15円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

成長国高金利債券マザーファンド

運用報告書　第26期　（決算日　2023年１月11日）

（作成対象期間　2022年７月12日～2023年１月11日）

成長国高金利債券マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

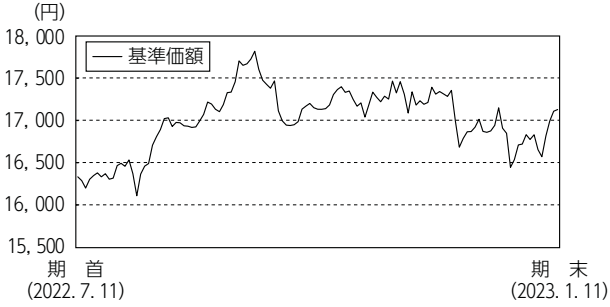
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	新興国通貨建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		JPモルガン GBI-EMブロード ダイバーシファイド(円換算)		公社債組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	
	円	%		%	%
(期首)2022年7月11日	16,337	—	16,494	—	81.2
7月末	16,536	1.2	16,432	△ 0.4	81.9
8月末	17,135	4.9	17,090	3.6	82.0
9月末	16,952	3.8	16,909	2.5	92.1
10月末	17,337	6.1	17,334	5.1	94.6
11月末	17,358	6.2	17,164	4.1	94.5
12月末	16,658	2.0	16,727	1.4	94.6
(期末)2023年1月11日	17,131	4.9	17,058	3.4	94.8

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭブロード　ダイバーシファイド（円換算）は、ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　ブロード　ダイバーシファイド（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　ブロード　ダイバーシファイド（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について
【基準価額・騰落率】
期首：16,337円　期末：17,131円　騰落率：4.9%
【基準価額の主な変動要因】
投資している債券の価格上昇や利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について
○債券市況
インドネシア、メキシコ、南アフリカでは、短期の金利は上昇（債券価格は下落）し中長期の金利は低下（債券価格は上昇）しました。
インドネシア、メキシコ、南アフリカでは、インフレ圧力の高まりにより利上げが実施されたことなどを背景に、短期金利が上昇しました。一方で長期金利は、2022年11月以降、米国の長期金利が低下に転じたことなどから低下しました。
○為替相場
メキシコ・ペソは対円で上昇（円安）し、インドネシア・ルピアおよび南アフリカ・ランドは対円で下落（円高）しました。
米国の金融引き締め観測の後退や日銀の政策修正などを背景に円高が進行したことから、インドネシア・ルピアおよび南アフリカ・ランドは対円で下落しました。メキシコ・ペソは、積極的な利上げや高金利通貨としての魅力が上昇材料となり、対円で上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」
引き続き、新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて
・基本的な商品性格に基づき、アジア地域ではインドネシア・ルピア、中南米地域ではメキシコ・ペソ、欧州・中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドへ投資しました。通貨別の配分は、各国の経済状況、財政状況、金融市場動向、社会情勢等を分析し、金利や為替の水準と方向性を考慮して配分しました。
・債券ポートフォリオについては、修正デュレーションを各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債を中心としたポートフォリオ構成としました。

◆ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

引き続き、新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

成長国高金利債券マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	4
(保管費用)	(0)
(その他)	(4)
合計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公社債

(2022年7月12日から2023年1月11日まで)

			買付額	売付額
外国	メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ 2,002	千メキシコ・ペソ — (—)
	インドネシア	国債証券	千インドネシア・ルピア 1,768,800	千インドネシア・ルピア 689,078 (—)
		特殊債券	千インドネシア・ルピア —	千インドネシア・ルピア — (150,000)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカ・ランド 1,354	千南アフリカ・ランド — (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公社債

(2022年7月12日から2023年1月11日まで)

当期 買付 銘柄	金額	当期 売付 銘柄	金額
	千円		千円
Mexican Bonos(メキシコ)7.75% 2034/11/23	9,814	Indonesia Treasury Bond(インドネシア)8.375% 2034/3/15	6,615
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA(南アフリカ)8.75% 2048/2/28	9,196		
Indonesia Treasury Bond(インドネシア)5.5% 2026/4/15	9,196		
Indonesia Treasury Bond(インドネシア)5.625% 2023/5/15	7,687		
Mexican Bonos(メキシコ)7.5% 2027/6/3	4,764		
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA(南アフリカ)8.75% 2044/1/31	1,736		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	当期末							
区分	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	15,110	14,149	98,320	36.7	—	24.3	4.1	8.3
	千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア						
インドネシア	9,183,000	9,751,895	82,891	30.9	—	19.7	8.7	2.5
	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド						
南アフリカ	12,680	9,349	72,834	27.2	—	27.2	—	—
合計	—	—	254,046	94.8	—	71.1	12.8	10.8

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注3）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注4）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区分		当期末 銘柄	種類	年利率	額面金額	評価額 外貨建金額	評価額 邦貨換算金額	償還年月日
				%	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ	千円	
メキシコ		Mexican Bonos	国債証券	8.0000	1,500	1,385	9,625	2047/11/07
		Mexican Bonos	国債証券	6.7500	1,500	1,489	10,349	2023/03/09
		Mexican Bonos	国債証券	10.0000	1,700	1,710	11,883	2024/12/05
		Mexican Bonos	国債証券	7.5000	1,660	1,594	11,081	2027/06/03
		Mexican Bonos	国債証券	7.5000	6,750	6,097	42,369	2042/11/13
		Mexican Bonos	国債証券	7.7500	2,000	1,872	13,011	2034/11/23
通貨小計	銘柄数	6銘柄						
	金額				15,110	14,149	98,320	
					千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア		
インドネシア		Indonesia Treasury Bond	国債証券	5.5000	1,000,000	983,530	8,360	2026/04/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	11.0000	233,000	260,873	2,217	2025/09/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	5.6250	800,000	801,552	6,813	2023/05/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	6.6250	400,000	389,360	3,309	2033/05/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.3750	5,250,000	5,818,155	49,454	2034/03/15
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	5.7500	1,500,000	1,498,425	12,736	2025/01/24
通貨小計	銘柄数	6銘柄						
	金額				9,183,000	9,751,895	82,891	
					千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド		
南アフリカ		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	6,900	4,663	36,327	2036/03/31
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	2,800	2,251	17,542	2048/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	1,280	1,022	7,968	2044/01/31
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	9.0000	1,700	1,411	10,995	2040/01/31
通貨小計	銘柄数	4銘柄						
	金額				12,680	9,349	72,834	
合計	銘柄数	16銘柄						
	金額						254,046	

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

成長国高金利債券マザーファンド

■投資信託財産の構成

2023年１月11日現在

項　　目	当　期　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
公社債	254,046	94.8
コール・ローン等、その他	13,934	5.2
投資信託財産総額	267,980	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、１月11日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝132.40円、１メキシコ・ペソ＝6.948円、100インドネシア・ルピア＝0.85円、１南アフリカ・ランド＝7.79円です。
（注３）当期末における外貨建純資産（267,497千円）の投資信託財産総額（267,980千円）に対する比率は、99.8％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年１月11日現在

項　　目	当　期　末
（A）資産	**267,980,130円**
コール・ローン等	8,370,253
公社債（評価額）	254,046,054
未収利息	5,425,705
前払費用	138,118
（B）負債	**―**
（C）純資産総額（A－B）	**267,980,130**
元本	156,430,289
次期繰越損益金	111,549,841
（D）受益権総口数	**156,430,289口**
１万口当り基準価額（C／D）	**17,131円**

＊期首における元本額は164,507,255円、当作成期間中における追加設定元本額は416,017円、同解約元本額は8,492,983円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
成長国高金利債券ファンド（毎月決算型）　156,430,289円
＊当期末の計算口数当りの純資産額は17,131円です。

■損益の状況

当期　自2022年７月12日　至2023年１月11日

項　　目	当　　期	
（A）配当等収益		**10,017,039円**
受取利息		10,017,606
支払利息	△	567
（B）有価証券売買損益		**2,923,142**
売買益		12,055,935
売買損	△	9,132,793
（C）その他費用	△	**64,503**
（D）当期損益金（A＋B＋C）		**12,875,678**
（E）前期繰越損益金		**104,241,775**
（F）解約差損益金	△	**5,867,559**
（G）追加信託差損益金		**299,947**
（H）合計（D＋E＋F＋G）		**111,549,841**
次期繰越損益金（H）		**111,549,841**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。